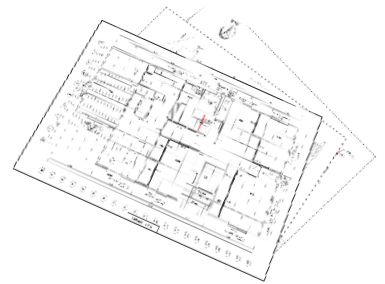




秋田の住宅コンクール

令和6年度第38回秋田の住宅コンクールにおいて、「秋田魁新報社賞」に3年建築科（以下同）・伊藤 洵さん、「(一社) 秋田県建築士会会長賞」に長谷部 稜さん、「(公社) 日本建築家協会東北支部秋田地域会長賞」に戸村美空さん、「佳作」に田口史歩さんが選ばれ、11月9日（土）に表彰式が執り行われました。今年は「ゲストを招く家」をテーマに、高校生部門にも各校から多数の作品が応募され、本校は応募者した生徒全員が入賞という快挙を果たしました。



秋田魁新報社賞

地域食堂 **HEBANA!**

設計趣旨

秋田県の人口は国勢調査が行われてから初めて90万人を下回り、少子高齢化が急速に進み人口減少に歯止めがかけられない状況が続いています。地元の由利町では子育て支援制度や移住・定住支援などを充実させたり、大手企業の事業拡大等で就職者を増やしていますが、過疎化は確実に進んでいます。

その中で地域の現状を見ると共働きが多く、子供は放課後になると児童クラブや塾に通って子供たちが多くいることが分かりました。また反面「子ども食堂」の数が少ないことも分かりました。「子ども食堂」は、子供が一人で行くことのできる無料または定額の食堂ですが、運営には地域のボランティアや寄付などの支援で成り立っているものが多くそこには様々な問題や課題があるようです。

この「地域食堂」は地元在住の住民を「ゲスト」として受け入れ、子供だけでなく幅広い年齢層の人たちが利用できるように考えました。また厨房では総土料理などの料理教室を行うことができる調理室として活用できるように考えました。また、出入口の前にはフリースペースを設けて子供から大人まで自由に利用できるようにしました。そして2階に配置することによって外部からの視線を気にせず自由に遊べる屋上広場や、空いている時間帯はカフェとしても利用できる食堂やテラスからは川越しにきれいな田園風景を眺めることができます。

1階の住居部分は外部階段下の風除室から入り、玄関・シューズクローク・納戸・ハントリーがキッチンまで繋がって家事動線が短く使いやすくなっています。また外部からの視線を避けてフロア東側の窓を小さくしたため、採光は南面の大きな窓から採り風も南側から西側の開口部に抜けるように考えました。



家族構成

- 夫婦2人、子供1人
- ・夫 45歳 建築士
- ・妻 37歳 専業主婦 (園芸 料理)
- ・子供 9歳

料理教室

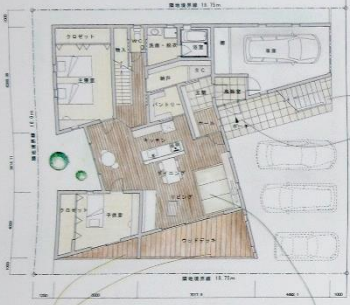
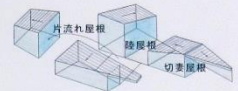
火曜・水曜 10:30~12:00
15:30~17:00

子供食堂

月曜~金曜 17:00~19:00
土曜・日曜 12:00~14:00

面積表

敷地面積	300.00㎡
建築面積	163.870㎡
1階床面積	145.817㎡
2階床面積	101.308㎡
延べ床面積	247.125㎡
建ぺい率	54.623%
容積率	82.374%



玄関・階段

1階と2階で玄関が分かれているので、プライバシーが保たれる。



調理室

料理教室や地域食堂の厨房として利用。料理教室で作った料理を地域食堂で提供する。調理室から食堂までの距離が短いため、料理を選びやすい。



子供だけでなく全世代の方が利用可能。東側に窓を設けているので、田園風景を眺めながら秋田の美味しいご飯を食べることができる。

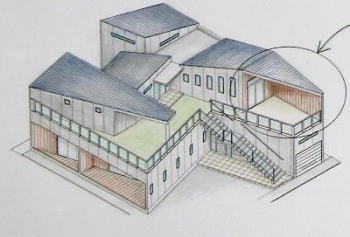


フリースペース

勉強や読書など自由に使える。

ウッドデッキ

バーベキューをしたり焼きたったりお花を置いたり子供が遊べる。また、洗濯物を干すこともできる。



テラス (日曜日 休み)

天気の良い日は綺麗な田園風景を見ながら食事をするすることができます。

2階トイレ

料理教室や子供食堂、公園にたくさんの方が来ても対応できるようトイレを広く配置している。

屋上広場 (日曜日 休み)

学校帰りや散歩中の方でも気軽に立ち寄れる。2階に配置したので車があっても田園風景が見えやすい。



(一社) 秋田県建築士会会長賞

LESTARTハウス

設計趣旨

私たちが生活している由利本荘市は、現在人口の過疎化が進んで来ています。また昭和から平成前半に建てられた住宅が、30年を過ぎ、建て替えが必要な状況になっていきます。そのため古くからある住宅地では空き家が増えてきています。これに対応して市では空き家バンクサイトを開設し、リフォーム資金助成事業を行うなど融資や助成にも取り組んでいます。

秋田県の夏は年々その他各種イベント、冬はかまくらやウィンタースポーツなどで観光客が増えて来ています。そこで今回空き家になった築30年以上の2世帯住宅をリノベーションして、海外や県内外からの人と交流ができれば比較的安全で宿泊できるゲストハウスを計画しました。

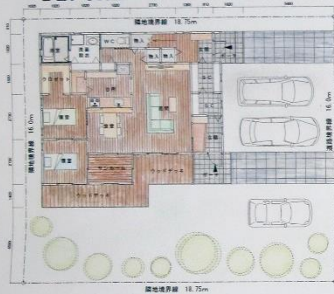
この住宅は上下分離式の2世帯住宅で、1階が親世帯2階が子世帯で使われていましたが、家族構成の変化と老朽化で空き家になっていました。それをリノベーションし1階部分は住宅として、2階はゲストハウスとして使用することができる仕様に変えました。1階はウッドデッキとポーチの部分を増築し南面に個室を並べ、水廻りはできるだけ位置を変えずに考えました。プライベートルームにはファミリークローゼットを必ず通ってから出入りすることによって動線を短くすることができます。2階のゲストハウスは中・長期滞在を考えた台所や洗濯室を完備し、LDKでの交流が楽しめることができ、天気の良い日には田園風景が眺められるテラスでの食事や休憩ができます。また個室はA~Dの仕様の違う2段ベッドの入った部屋が4タイプ用意されています。受付らしい場所は考えずゲストハウスの玄関に納戸から出入りすることができるようにし、ゲストとの交流ができるよう考えました。



面積表		
	BEFORE	AFTER
敷地面積	300.000㎡	300.000㎡
建築面積	99.372㎡	99.372㎡
1階床面積	88.067㎡	98.554㎡
2階床面積	89.435㎡	99.372㎡
延べ床面積	177.502㎡	197.926㎡
建蔽率	33.124%	33.124%
容積率	59.167%	65.987%

家族構成
 父 47歳 建築士
 母 39歳 会社員
 子供 9歳

BEFORE



1階平面図 S=1:100



2階平面図 S=1:100



東側立面図 S=1:100



南側立面図 S=1:100



断面図 S=1:100



ファミリークローゼット



テラス

他県から来た観光客や外国から来たお客様に秋田の良さである緑あふれる自然を眺めてもらうことができます。

ファミリークローゼットを取り付けて家事向線の短縮させることで、各部屋の収納スペースを小さくすることができました。

ハイサイドライトを設けて、リビングルームに光が入るようにしました。また、周りに個室を配置することで家事動線を短くしました。

AFTER



1階平面図 S=1:100



2階平面図 S=1:100



東側立面図 S=1:100



南側立面図 S=1:100

(公社) 日本建築家協会東北支部秋田地域会長賞

WANSAKA



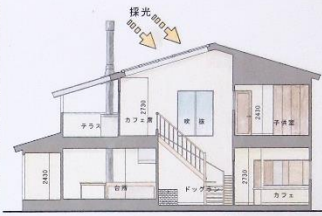
設計趣旨

犬は古くから人間と共生してきた関係で、最近ではペットとして飼われることが多くなりました。また、人間に共感する力をもち私たちに「癒し」を与えてくれる犬たちは、よりよき暮らしで大切な存在であり生活を共にするパートナーとしてかけがえない存在になっています。人と犬の関係は互いに感情や表情を理解することで深い絆を築くことができます。今回は大岡土の交流や飼い主同士の交流などができるように「ドッグカフェ」を計画しました。そこに集う「ゲスト」は犬を飼う前に触れ合い、ペットロスの寂しさを癒らわせないという人もいます。そんな人には、自宅でも飼っている秋田犬と触れ合いができるように「犬カフェ」として利用できます。高齢者の中には先のことを考えると飼えないと思っている人もいます。そういった人たちのためにも犬が好きで人たちが集まって一緒にくつろげる空間を考えてみました。

面積表	
敷地面積	300.000㎡
建築面積	149.058㎡
1階床面積	107.653㎡
2階床面積	62.468㎡
延べ床面積	170.121㎡
延べ率	49.686%
容積率	56.707%

家族構成

夫 (43) 会社員
妻 (37) カフェ経営
子ども (9) 小学生
秋田犬 番犬 (番犬)



断面図 S=1:100

ドッグラン
塵埃付きだから秋田の冬でも快適に過ごせる！
屋根はガラスとアクリル板の二重構造にして自然光を取り入れつつ、断熱効果もばっちり！人工芝で、手入れも簡単



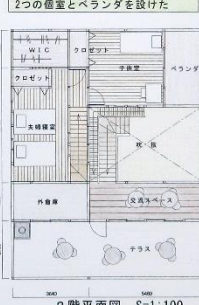
犬用と猫用を設置
犬の足腰への負担を軽減！

カフェスペース

天気のいい日はテラス席も使える
ドッグランと併設してあるから
席に座って見ることもできる
専用の厨房で犬用メニューも用意！



2階はプライベートスペースとして 2つの個室とペランダを設けた



居間
薪ストーブで秋田の冬もあたたかく過ごせる
薪ストーブの炎にはリラックス効果がある

上部に溜まった空気は
ハイサイドライトから通風が取れる



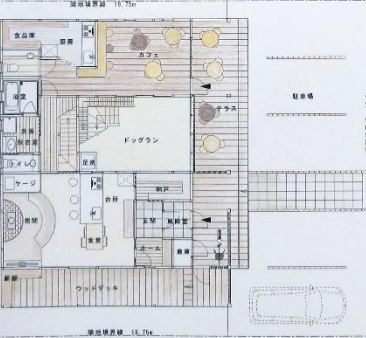
南側平面図 S=1:100



東側立面図 S=1:100

1階と2階に格子を設置することで
統一感が出る

テラス席からの視線が
気になる犬もいるため
格子を設けた



配置図兼1階平面図 S=1:100

住宅
格子通風と目隠しの役割を持った格子を設置することで
住宅とカフェを仕切り、家族以外は自然とカフェに向かう
またこの格子はウッドデッキを外側からの視線からそらす
役割も持っている



交流スペース

上から見下ろしながら
ゆつくりくつろぐことが
できる。外の空気を浴びて
遊ばせたい季節にはテラス
に出ることもできる

ペランダやテラス席からは
田園が見渡せる

営業時間

10:00~18:00
カフェ定休日
毎月第2、第4火曜日



〈拡大 約 16MB〉

佳作

継往開来

設計趣意

全国的に若者の伝統工芸品の継承者離れが続いている地域にも様々な伝統工芸品があります。その地域の伝統文化や工芸品についての歴史を継承し、次世代に伝えたいと考える者が現れています。その歴史を継承し、文化を伝えることができれば、伝統工芸品の継承者として活躍する機会も生まれるでしょう。また、伝統工芸品の継承者として活躍する機会も生まれるでしょう。また、伝統工芸品の継承者として活躍する機会も生まれるでしょう。

展示ホール
この展示ホールでは一つ一つ丁寧に作られた色鮮やかな本荘ごてんまりが並びまた伝統的な技法で作られた本荘細子細工を見て触れることができ、またその歴史について学ぶことができます。

面積表

面積表	
敷地面積	300.000㎡
建築面積	125.043㎡
1階床面積	111.794㎡
2階床面積	91.091㎡
延床面積	202.885㎡
建築率	41.681%
容積率	67.628%

家族構成

- ・父49歳 細子細工職人
- ・母37歳 縫製会社
- ・子供2歳 小学生

各部屋の扉
各部屋には伝統的な細子細工が使われ、部屋によって異なるデザインが使われています。

窓を多く設けること、近年値上がりしている電気代を減らして自然光が採り入れられるようにしています。また、風通しが良く快適な空間を確保することができます。そして東側には川と田んぼがあるため景色を楽しむことができます。

断面図 S=1:150
南側立面図 S=1:150
東側立面図 S=1:150

〈拡大 約 16MB〉